

若者支援を第一とし、高齢者は70歳末まで就業しよう。

## 印象に残っていること

「そんなことをしてなんになるんだ!」と言っていた方が、時を経て、それからチラシを持って行かれるようになったことがとても印象深いです。今では時折「新規の話題が欲しいね」や「今度のインターン生は、理系の学生さんだね」と、記事の評価をしてくれるようになりました。継続は力と信じています。



コロナ以降、こうした光景を見なくなった冬の風物詩(餅つきに参加)

## 安定した就活と新産業

町田市産牛乳を使ったジェラートをおいしく食べる

就職氷河期世代(1970年頃から1980年頃までに生まれ)と現在のコロナ世代は理不尽(あるいは不条理)な状況に遭遇し、希望の道を歩めなかった人が多数います。

その中で、就業に外れた人たちが定着できる職業につくことは、個人の努力に任せるのではなく、社会的・政治的に幅広い支援が必要な取り組みです。現在まで、氷河期世代の非就業者を対象に、国や東京都で支援事業が組まれましたが、現実には初歩的な業務、あるいは一般業務の分野が大半です。長期的な人間成長が図れるプログラムを提供し、50歳代以降には社会を担う役割を果たしてもらう必要があります。

そのため、町田市は率先して、ものづくりなどの新産業にその世代が参加する機会を何度も提供していく新規事業の設定を始めるべきでしょう。

ベンチャー企業から一部上場企業の急成長したユーグレナの出雲充社長を、私が参加する清溪セミナーの講師に依頼しました。インターン第1期生でした。



## 年金生活から納税者への転換

いつまでも元気に沖縄からの訪問者の方々と交流

吉田つとむは、団塊世代(出生数で約806万人)と言われる年齢です。20歳代にオイルショックが発生し、燃料費が高騰、物価が上がり、多数の企業が苦境に陥る状況を現場で体験しました。

自分でも、務めていた会社が「廃業」となり、「失業」しました。それ以前に、大手取引先の倒産にも遭遇し、「債権者会議」にも出席したことがあります。そうした、失業、再就職、転職などの社会体験を様々に経て、現在に至っています。その経験が若い世代に少しでも役立てば幸いです。

その世代の多くのひとは年金生活に入ろうとしていますが、広範囲な高齢世代の課題として、まだ働きすることで、納税世代にカムバックして頑張ることが次の世代への安心と貢献と考えています。



支持政党なしの方々の代表

発行：支持政党なしtokyo

〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12  
サンホワイトE103-13  
TEL.042-795-7361  
FAX.042-795-2726



支持政党なしTOKYO NEWS

# 吉田つとむ

良識ある保守主義、政党・業界・団体から完全に自立

前町田市議  
3期連続トップ当選  
第35代議長



ホームページ



ブログ

新型コロナ感染拡大は、3年目を迎えました。今度のオミクロン株はかかっても多くは軽症らしいという説もあるが、終わりが見えないことも予期して、生活形態を変換することが必要でしょう。

これからは、若い世代が将来に夢や期待を寄せられる施策を提起することが何より重要です。ただし、既存の利益や大きな団体の利害が優先される政治が簡単に弱まることもありません。

組織や団体に所属しない(支持政党なし)の人々の声を体現することがなにより必要です。そのためには、コントロールをきかせる自立性が高く、強圧を跳ね返す力を発揮できる政治家でなければなりません。

## 提 唱

## 3つの町田若者育成宣言

- 1 若者育成が最優先** 就職氷河期世代、コロナ期世代の安定就業。中高年は若者を育成することに奉仕する立場で就業する。
- 2 東京は西に発展する(交通文化都市の形成)** 町田市は東京都に限らず、相模原や横浜と連携しよう。\*テレワーク時代にも対応する独自の都市圏づくり。
- 3 情報公開、情報開示** 行政と議会の情報公開を限りなく追及する。他方で、政治家個人の自己開示も欠かせない。

1000万回再生を目指す!

吉田つとむ発見動画チャンネル

マルチメディアの

双方向情報発信を続ける



YouTube



支持政党なしの声を生かす



# 吉田つとむの原動力は住民の声

支持政党なしの方々の代表 吉田つとむは若者育成がライフワーク



## 駅頭にいる政治家といえば吉田つとむです

吉田つとむは、20年以上ひたすら町田市内の全駅(10駅)に立ってきました。そこで一般の方と意見を交わし続けてきたことが政治的な発言の基礎になっています。

新型コロナが話題になり始めた2020年1月、吉田つとむは、いち早く「マスク」と白手袋姿で街頭に登場しました。市議時代(2021年5月31日に辞職しました)では、会議でマスクをしたまま発言した最初の市議でした。発言だけでなく、わかりやすい行動でも先頭を切るのが特徴です。当時より、ずっと不織布マスクをしています、その方が布マスクより飛沫防止に役立つことまでは当初意識せずに使っていました。



## 吉田つとむに聞いてみた

中高生・児童・園児の反応は？

街で最も話しかけてくるのは、中高生です。試験の準備、結果を毎回教えてくる生徒もいます。成績が上がれば一緒に喜び、下がれば「次に頑張ろう」と励まし合います。

昨年からの時期では、進学先が学校推薦で決まったことを伝えてくれる高校生が幾人もいます。その後、専門学校に進んだ子の場合は、就職する職業分野を知らせてくれる場合もありました。

小学生や幼稚園児の中には、ダンゴムシやトカゲを手にとって見せてくれる子がいますが、妖怪の種類のクイズを出してくる子もあり、次回までに私が勉強しないといけない例もあります。

コロナ期になって、距離を保つことを優先しています。



幼稚園の運動会に招かれると終日観戦



高校の文化祭では高校生のリクエストに応じる

## 吉田つとむが町田で最初に提唱したこと 実現してきたこと

- 政治の情報公開(町田市で最初に情報公開請求を行い、市長交際費を公開)
- ジェネリック医薬品の勉強会を開催し、他の議員も参加。現在ではジェネリックが主流。
- 福島原発爆発事故に伴う放射性物質の放出拡散調査(市内のポイントで、放射線量の定期測定、学校給食用牛乳の汚染測定：全国初)
- 保育園が不足する時代に、駅前(駅型)保育園を本会議で提唱。当初、行政は反対でしたが、町田市市内にも急速に増加。
- 子どものプレイパークを本会議で提唱。まず、民間で冒険遊びが設置。
- ごみ収集料金の高齢者無料の見直し唱え、町田市の方針を改めさせる。
- 議会のネット中継提唱。オンデマンド方式で、長村敏明議長時代に実現。吉田つとむは議会運営委員長として推進。
- 議長時代に議会と高校生の意見公開会を提唱。現在では、市議会の主要イベントの一つになる。
- 企業創成事業支援(インキュベート施設)は、新産業創造センター設置で一部実現。



なんでも率先：武者行列で馬上に

## 吉田つとむが強く主張してきたこと

- 町田市の収蔵工芸品は世界的な一級品とは言えず、工芸美術館新設に40億円もかけるのは税金の無駄使い。
- 中学校給食の現実的な改善として、給食センター方式の新規採用。
- 65歳以上を「生産年齢人口」に入れない、町田市行政の発想の転換。



討論会にも進んで参加

## 政策に生かされていますか？

町田市の中学校給食のことを最初に聞いたのは、駅頭での活動中です。町田市の中学校の選択式弁当給食は冷めておいしくないほか、配膳に時間がかかることもあり喫食率が低くなっています。食缶を使い、教室まで温かい給食を運ぶ方法による改善が提案できました。

朝の駅頭では中央官庁の人や、夜勤で朝の時間に町田に戻ってこられる方がおられます。私にはそうした幅広い市民の方の声を議会に届ける使命があると考えています。コロナ以前は、海外の就業状況や経済動向を教えていただいていたいました。



青森県八戸市の給食センターを視察

## 2022年春、インターン第49期生を募集中！



地域の喫茶店に立ち寄り

幅広い学生さんが活動		出身校一覧 (五十音順・太字は3名以上)	
青山学院大	芝浦工大	創価大	一橋大
桜美林大	首都大	価川大	フェリス学院大
大原専門大	(東京都立大)	多摩大	法政大
神奈川大	昭和女子大	津田塾大	明治学院大
共立女子大	上智大	中野大	立教大
慶応大	白百合女子大	波京大	早稲田大
国際基督教大学(ICU)	成蹊大	帝京大	高稲校生
恵泉女学園大	成城大	東海大	(五十音順)
駒沢大	専修大	東大	

元インターン生の多岐な進路 (主な就職先：判明分)

教育出版, 銀行, 信金, 国会, 商社 (総合, 専門), 自治体, 生保, 損保, 証券, 不動産, ITソフト, SNS・ゲーム, 国際ビジネスコンサル, 化学, 航空機材製造, 石油資源, マーケティング, 番組制作, イベント, 食品, 物流, 航空, 旅行, 化粧品等の各分野。教師, 管理栄養士, 弁護士(3人目)が活躍。フェアトレード会社を海外で創業して社長(6期生女性), 起業した会社が一部上場企業に飛躍する現役社長(1期生男性), 地方議員が2名, 幾人も海外へ飛躍。